



産業を育成するまち

施策

自然を活かした産業を育成する

現状・課題

本市は、海・山・里に恵まれ、市の中央部には清流が流れるなど豊かな自然環境に恵まれています。

一方、冬季の降雪のため、農地の有効利用を図りにくいという自然特性もあります。

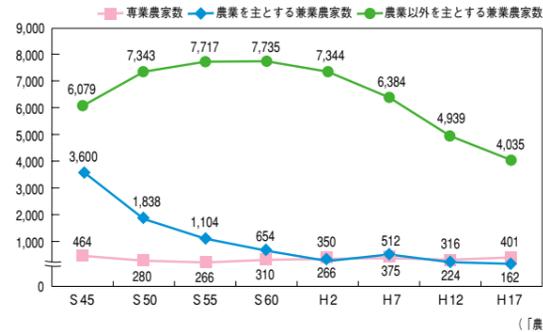
また、農林水産業従事者の高齢化や所得の減少などにより、意欲のある担い手が不足しています。

これからは、農山漁村地域に意欲ある担い手が残れるよう生活環境を整備するとともに、都市生活者との交流による地域づくりを目指します。

施策の方向性

- ・ 意欲ある担い手の育成
- ・ 生産コストの削減
- ・ 特産品化やブランド化による農林水産物生産と販路の拡大
- ・ 若者が農山漁村に居住できる環境の整備

● 農家数（専兼別）



● 用語説明

- *1 集落営農：「集落」を単位として農業生産過程における一部又は全部についての共同化・統一化に関する合意の下に実施される営農のこと。
- *2 特用林産物：「しいたけ」等のきのこ類、「ぜんまい」「わらび」等の山菜類のことであり、農山村地域において就労の確保と収入の安定に大きな役割を果たしている。
- *3 地産地消：地域の消費者ニーズに即応した農業生産と、生産された農産物を地域で消費しようとする活動を通じて、農業者と消費者を結びつける取組み。
- *4 認定農業者：農業経営基盤強化促進法に基づく制度。経営改善を図ろうとする農業者が自ら農業経営改善計画を作成・申請し、市町村の基本構想に照らして適切であり、その計画の達成される見込みが確実で、農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために適切である、との基準に適合する農業者として、市町村から認定を受けた者。
- *5 グリーンツーリズム：都市生活者が農村に滞在し、余暇を過ごそうという旅行の形態。農業体験等を取り入れた独自の方法で、農村の良さの再認識やまちおこしを行う団体もある。
- *6 二地域居住：都市住民が年間1～3ヶ月程度、農山漁村などの同一地域に滞在することで、都市と田舎の二箇所に住居をもつ。
- *7 週末帰農：週末を利用して農山村にて農業に在所むこと。
- *8 棚田オーナー：棚田の多面的機能の意義を、田植え、草とり、草刈、稲刈り、はさがけ、脱穀の作業体験を通じて理解する制度。
- *9 中山間地域等直接支払対象面積：耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正する農家等への交付金により、農業生産活動の維持を通じて、耕作放棄の発生を防止し多面的機能の確保を図る制度の対象となる面積。



課題を解決するために

基本柱1 意欲ある担い手の確保と生産力の向上を支援する

農林水産業の産業としての魅力を高め、意欲ある担い手の育成や産業基盤の整備による生産コストの削減を図る。経営を安定させるため、素材以外の加工品の生産や副産物の有効利用を図る。

中 柱	内 容
新たな就業者の確保・育成	◎ 就業のための情報の提供、技術支援、就業資金の援助
農用地の集約化	◎ 農作業の効率化、生産コストの削減を図るため、農用地集約や集落営農*1等による農作業組織の集団化、法人化
農林水産物等の販路拡大	◎ 福井農産物の市場競争力・ブランド力を高めるため、おいしい福井米づくりや特用林産物*2づくりの支援、水産物への支援、園芸作物等の生産支援 ◎ 地産地消*3による地元生産物の消費拡大
消費者が求める農産物の生産	◎ 有機、低農薬農産物の栽培
漁業生産の基盤づくり	◎ つくり育てる漁業の推進 ◎ 漁獲物の安全な出荷、漁船の安全な保管のための漁港整備
産地、生産者との連携（再掲）	◎ 生産地情報の収集による安定かつ、鮮度の高い安全な食素材の供給 ◎ 地元生産者との連携強化 ◎ 豊かな食育の推進

指標 50	担い手経営体（認定農業者*4・集落営農等）数	基準値（H17）	148経営体	目標水準（H23）	300経営体
指標 51	農業産出額	基準値（H16）	10,171百万円	目標水準（H23）	11,000百万円
指標 52	特用林産物（きのこ類）生産量	基準値（H17）	520 t	目標水準（H23）	580 t
指標 53	水産漁獲高	基準値（H17）	1,998 t	目標水準（H23）	2,200 t

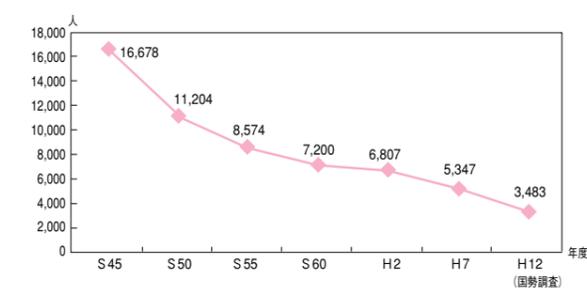
基本柱2 農林水産業を支える生活環境を整備する

若者が定住し、地域が連帯できる集落組織を再生するため、農山漁村の生活環境を整備する。農山漁村住民と都市住民とが触れ合える機会を提供する。

中 柱	内 容
農山漁村の快適な生活環境づくり	◎ 自然を活用した農山漁村地域環境の整備
農山漁村と都市のふれあい交流及び二地域居住等の推進	◎ 農林漁業体験機会の提供 ◎ 農産物や水産加工品の販売機会の確保 ◎ グリーンツーリズム*5の普及 ◎ 二地域居住*6や週末帰農*7に関する研究
中山間地域の活性化	◎ 農産物の加工施設の整備による就労の場の確保 ◎ 地域特産物開発による地域住民のふれあいのある環境づくり
水質の保全	◎ 集落排水の整備 ◎ 合併処理浄化槽の普及 ◎ 特定地域環境保全下水道の整備

指標 54	農林水産業従事者数	基準値（H12）	3,483人	目標水準（H22）	2,090人
指標 55	集落排水整備率	基準値（H17）	72.6%	目標水準（H23）	93.2%
指標 56	棚田オーナー*8数	基準値（H17）	37組	目標水準（H23）	100組
指標 57	中山間地域等直接支払対象面積*9	基準値（H17）	34,878a	目標水準（H23）	35,478a

● 農林水産業従事者数



- ◎ 補完指標 ・ 農作物収穫量、間伐材利用量
- ・ 農村部人口